

平成13年度決算をお知らせします

平成13年度（平成13年4月から平成14年3月）の一般会計と各特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。

一般会計とは、特別会計を除いたすべての経費を表します。特別会計とは、特定の事業を行うため、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。

熊野町では、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、公共下水道事業特別会計、介護保険特別会計、および地方公営企業法の適用を受ける公営企業特別会計である上水道事業会計がこれに当たります。

一般会計の決算は、歳入総額では74億7千6百58万円、歳出総額67億6千8百16万円となり、歳入歳出差引額は7億8千42万円でした。このうち、翌年度に繰り越して事業を行うための費用が2億3千2百72万円、実質的な歳入

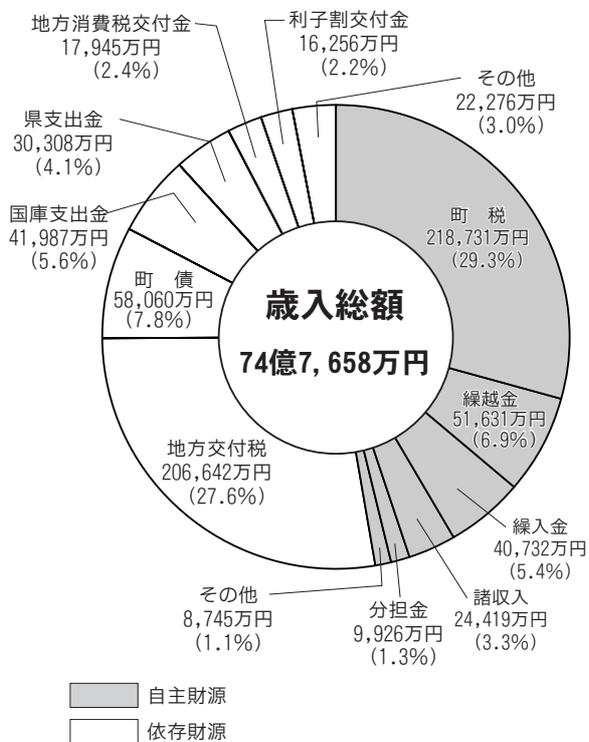
歳出の差額は、4億7千5百70万円となりました。

なお、科目別の内訳と特別会計の状況は、グラフと下の表のとおりです。

一般会計

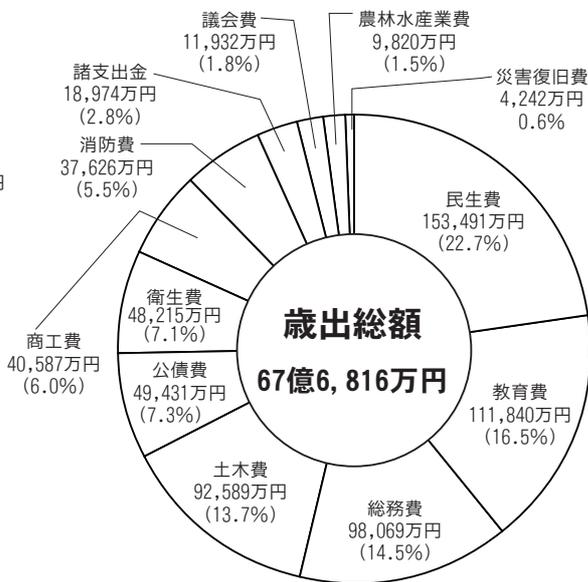
歳入総額 74億7,658万円

平成12年度より 16億9,134万円(18.4%)減



歳出総額 67億6,816万円

平成12年度より 18億8,345万円(21.8%)減



特別会計

	国民健康 保険事業	老人保健 医療事業	公共下水道 事業	介護保険 事業	上水道事業	
					収益的収支	資本的収支
歳入総額	20億5,389万円	20億7,347万円	15億2,931万円	11億1,743万円	5億8,711万円	1億7,382万円
歳出総額	19億7,612万円	20億2,762万円	14億6,547万円	10億9,765万円	5億6,854万円	2億560万円
差引額	7,777万円	4,585万円	6,384万円	1,978万円	1,857万円	3,178万円